

表現の自由・内心の自由を侵す「共謀罪」を考える

一般市民・市民活動を監視し、抑圧する！

講師：西中誠一郎さん

(フリージャーナリスト)

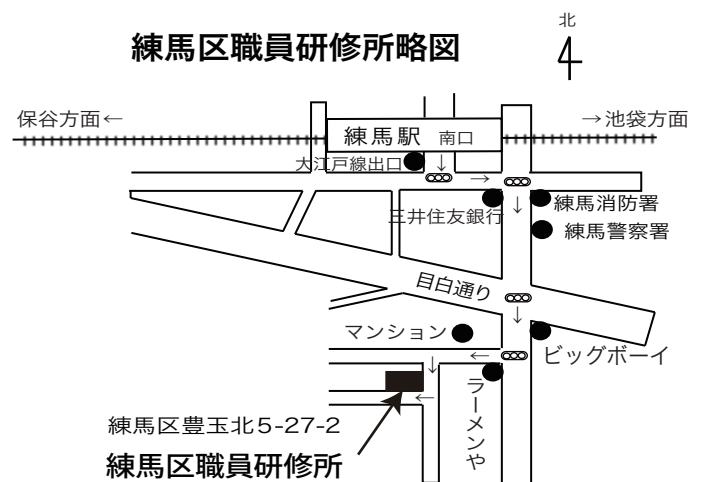
「共謀罪」の国会審議がいよいよ始まりました。同法案は過去3回国会に提案されたものの廃案になったという問題法案。政府与党はろくろく審議もせず、連休明けの成立を狙っているとされています。2020年の東京五輪を控えてのテロ対策が目的と言われていますが、法案の原案には「テロ」の文字はなく、普通の市民団体でも、犯罪の実行に変わったと見なされれば処罰されるという可能性があります。現代版治安維持法と言われる所以です。

福島原発事故記者会見で西中氏の質問に今村復興相が“逆切れ”

今回講師をお引き受けいただいた西中氏は4月4日の今村雅弘復興相の定例記者会見で、原発事故区域外避難者（「自主避難者」）の住宅無償提供打ち切り問題に関する「国の責任」について質問したところ、同大臣に「逆切れ」されて各メディアで大きく報道されました。（裏面に「週刊金曜日」4月14日号の西中執筆記事）西中氏は長年関わってきた入管難民問題や「治安テロ対策」を名目にした「監視管理社会の強化」に関する取材活動を通じて、特定秘密保護法や共謀罪制定の動向にも関心を持ち、講演では、その背景にある2001年9.11「世界同時多発テロ」以降の政府の動きについても紹介しながらお話頂きます。

5月13日（土）
午後2時～3時半
練馬区職員研修所

資料代：500円



主催：練馬・文化の会

連絡・問合せ先 田場洋和 090-3238-9348

(当日は午後4時から文化の会総会。新入会受け付けます：年会費2000円)